

めだか箱はチートじゃ
なかった

ハロルド

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

めだかボックス詰め合わせ（めだか、球磨川、なじみ、半纏、言彦を除く）を得た転生者が勘違いされる話

だといいいね！

目次

プログラグ

1

プロローグ

——その男は謎に包まれている。

伝説の吸血鬼は語る。

「奴の事か。そうだな、あれの実力はチートだバグだと言いたくなるレベルだな。中々に抜目ない所もあり、油断も隙もない。紅き翼と比較しても遜色ないだろうよ」

——その男は途方もない実力を秘めている。

極東の魔法使いは語る。

「彼かの？ ふむう、悪い人物ではない……と思うぞい。いまいち掴み所がないから一概には言えぬがの。まあ、木乃香の命の恩人じゃ。信頼はしておるよ」

——その男は一つ所に定まる事がない。

三番目の人形は語る。

「ああ彼かい。友人、と思つてゐるよ。調や栞も彼に懐いてゐるようだし、出来る事なら仲間に引き入れたいものさ。実力だつて僕達に劣らないものだと思ふしね」

——その男は——

「やべえよ……フラグがどんどん建つてくよ……めだかボックス詰め合わせ（球磨川、めだか、半纏、なじみ、言彦を除く）じゃあ心許がなさすぎるよ……！」

——ただのヘタレ転生者だ。